

# 施設 伊豆の国市の施設紹介 施設へ行こうよ!

市内に点在する多くの公共施設。これらの施設を皆さんにもっと利用していただけるよう、このコーナーでは、市内にある公共施設を順次紹介していきます。



全景

館内には「観光協会」「伊豆長岡町商工会」「温泉旅館組合」の事務所が、外には「姫のあし湯」があります。

## 第3回 長岡総合会館

### 多目的ホール

ステージのある平土間形式のホール

で、机、イスを並べての会議、講演会、演奏会、演劇、ダンス、飲み会、パーティ会

### 会議室

一階に会議室一、二階に会議室二と会議室三の三つがあります。会議室一・三は円卓、会議室二はスクリーン形式で室内を半分に仕切ることが出来ます。会議、研修にも、ホールの控え室としても利用できます。

### 大ホール

「アクセスかつらぎ」という愛称で皆さんに親しまれている長岡総合会館。この愛称は、文化・芸術・観光・福祉の拠点「AXIS」になるようにと付けられました。大ホール、多目的ホールのほか、会議室や楽屋、約三百台を収容できる駐車場も完備しています。



大ホール

場としても利用できます。ピアノ発表会や販売会場として利用されるほか、毎月レクチャーコンサート「アクセスの夕べ」が行われています。ピアノはG5を設置。

## アクセスかつらぎ

住所 古奈 255  
 休館 月曜日(祝日の場合は翌日) 12月27日~翌年1月5日  
 申込み アクセスかつらぎ窓口へ(施設により受付期間が異なりますのでお問い合わせください)。  
 問合せ アクセスかつらぎ 電話 055 948 0225



## 第14回

# いずのくにの女ひと

このコーナーでは、伊豆の国市内に住む、働くまたは縁のある輝いてる皆さんを紹介していきます。

今回は、源氏あやめ祭りの演芸ショーで「華のあやめ踊り」に出演する芸者・むつみさんを紹介します。



むつみさん(芸者)  
 長岡在住。伊豆長岡芸能事業協同組合(芸妓連)所属。最近の趣味は中国語や陶芸。好きな言葉は「今が青春」

「芸の道は楽しい。今までつらいと思ったことはありません」というむつみさん。幼少のころは東京で暮らし、中学一年生のとき縁あって長岡に移り住みました。本格的に芸者の稽古を始めたのは、中学卒業後。子どものころから、日本舞踊に憧れていたむつみさんには、踊りや歌の稽古がとても楽しかったといいます。初めてお座敷に出たのは十五歳の十一月でした。以来、伊豆長岡芸妓連の看板芸者として、最前線で活躍し続けています。

五人のみ。でも、人数が少ない分、一人ひとりがお稽古もお座敷もがんばっています。芸者の質は昔より高くなっていると思います。芸者をやってきて、心に残ったエピソードを聞くと、「昔、お座敷で手振きの踊りをしたとき、あるお姉さん(先輩芸者)に、『百人のお客さんが居れば、二百の目がある。必ず誰かが見ているよ』と叱られました。以来、私は、芸事はいつも真剣勝負と決めました。芸者をやってきてうれしかったことは、「そのお姉さんが引退したあとに私の踊りを見て、『うまくなったね』と褒めてくれたことです」といいます。今の若い女性にも、



あやめ祭で芸妓連理事長の茶目さんと踊るむつみさん(左)

「ぜひ芸者の世界を体験してもらいたい」というむつみさん。「礼儀作法も身につくし、花嫁修行にはもってこいです。結婚するまでの二三年体験するだけでも、かなり『女』を磨けますよ。」そんな芸者衆の、年に一度の大舞台が、今年で七十一回目を数える「源氏あやめ祭り」。四月から「華のあやめ踊り」の厳しい稽古を積んでいます。今年の舞台は、芸者と獅子舞の競演や、雰囲気を変えたシャンソンの踊りなど新しい趣向を凝らしています。もちろん、毎年恒例のあやめ御前と頼政の踊りも必見。「観光だけではなく、地元の人にもこそ見せたい。私たちの踊りから、日本の文化を知り、地元の芸者もがんばっているんだというのを感じてもらえればうれしいですね。」今年の「源氏あやめ祭り」も目が離せません。

## 広報

# いずのくに

は毎月2回発行!

広報「いずのくに」は、毎月1日号と15日号を発行しています。1日号は各自治会(区・組)を通じて配布し、15日号(タブロイド版)は新聞折り込みで皆さんにお届けしています。

広報紙がお手元に届かない場合は、各支所、公共施設(アクセスかつらぎ、めあと湯の館、図書館など)、農協や郵便局、金融機関などにありますので、ご利用ください。

問合せ 企画財政課 電話 055 948 1414